



子ども大学かわごえ

# CUK だより

第10号 NO.1007

2010年7月9日

想像力は知識よりも重要である！

アインシュタイン

ン

## 6月26日 第3期入学式 新入生は172名

第3期入学生は、これまでで一番多い172名。6月26日(土)午後1時からの東京国際大学第1キャンパス314教室で行われた入学式には、子ども学生157名(4年生55名、5年生59名、6年生43名、欠席15名)、保護者と来賓169名、会員18名で、総勢344人が参加しました。



子ども大学かわごえ校歌斉唱のあと、黒いガウンをまとった遠藤克弥学長が「平成22年度入学の皆さん、おめでとう」と、あいさつ。「子ども大学の授業で興味を持ったことを生活の中で発展させてください。学校の勉強にもきっと役立ちます。学びの楽しさを味わって、夢を抱き、将来の自分の生き方に生かしてください」と、新入生に語りかけました。

つぎに来賓(らいひん)がお祝いの言葉を述べました。初めに上田清司・埼玉県知事の祝辞を県教育委員会の清水隆主席が代読(だいどく)しました。「子ども大学かわごえの第3期入学式が盛大に開催されましたことを、お祝い申し上げます。子ども大学は真の学びや生き方を学ぶ場です。こうした学びの場を立ち上げた関係者のみなさんに敬意を表します。私は今年3月、蓮馨寺で開かれた学園祭『ミニかわごえ』を見学しましたが、銀行、税務署、放送局、お店などがあり、ここで社会体験をすることで、子どもたちが社会に役立つ人間として大きく成長するきっかけになるだろうと思い、感動しました。今後、子ども大学が県内各地に、さらに全国に広がることを期待しています」。



(「小江戸新聞社」ご提供)

続いて川越市教育委員会の根岸孝司教育総務部長があいさつをされました。「私の子どもが4年生のときに、東京電気大学の科学教室へ一緒に通い、リニアモーターカーの実験を見ました。磁石を使って線路の上を少し浮いて走るんですけども、子どもたちは喚声の

声を上げました。子ども大学にはいろんな教室がありますが、皆さんは楽しく学んでほし

いと思います」。次に鶴ヶ島市教育委員会の榎幸夫参事が「小惑星探査機『はやぶさ』が小惑星『イトカワ』から7年振りに帰ってきました。ドキドキするような夢が現実になってきます。皆さんもこの大学で、大きな夢に向かって学んでください」と話されました。

最後に、子ども大学かわごえ6年生の小俣諒介君が新入生に「入学おめでとう。学校で習わないことを学び、いろんな発見をしてください」と、歓迎の言葉を述べました。

入学式終了後、授業が始まる2時までの15分間、ホームルームが開催され、子ども大学かわごえの酒井一郎事務局長がパワーポイントを使って子ども大学かわごえの紹介をするとともに、この大学は学生、保護者、会員、教師、地域の方々が力を合わせることで発展するということを強調しました。

### 第3期最初の授業「やってみよう！君たちもクリエイターだ」 東洋大学 総合情報学部教授 石原次郎先生

校歌を全員で斉唱したあと授業が始まりました。

赤いTシャツとチノパン姿の石原次郎（ジロー）先生が、いろんな声を出して「こんにちは！」と挨拶したので、みんな大笑いです。先生は「今日は4時までずうっと遊んでください。そして授業が終わったら、みんなは『クリエイター』『アーティスト』『芸術家』になって家に帰ってください」と話しかけました。



「まず、やってもらいたいゲームがあります」と、左にピンク、右に白の丸が書いてある小さな紙が配られました。そして「みんなは、左のピンクの丸に、頭に浮かんだものの『感じとか色』を1つだけ書いてください」と説明しました。アシスタントの大学生のお兄さん、お姉さんが黒板やホワイトボードにいろんな言葉を書いています。“ぷによぷによの、小さい、めんどくさい、夕焼け色の、ふあふあした、かっこいい、うるさい、ぬる

ぬるした、きらきらした、おいしそうな、ジローっぽい？……」。先生がいろんな声で読み上げるたびに教室に笑い声がひびきます。「黒板やボードの言葉でも何でもよいので、一つだけピンクの丸の中に書いてください」。どれにしようか、何を書こうか、話し合っている友だちもいます。

「今度は右の白い丸の中に『大好きなもの』を一つだけ書いてください。人でも食べ物でもなんでもオーケー！」と先生。みんなちょっと考えています。「大好きなものがたくさんある人は悩んじゃうねえ」と言いながら先生は教室中を歩き始めました。

「次は、2つの丸の上の黄色の部分に『音が出る』と書いてください。3つの言葉を合わせると、例えば『音が出る・イケメンの・ブタ』や『音が出る・おいしい・ケーキ』なんていうようになります」。みんな面白くて大喜びです。「もう一枚配られた大きな紙に音が出る発明品の名前を書きましょう。そして君たちがその発明品を作ってください。『音が出る・イケメンの・ブタ』は、先生の発明品の名前です。次に音が



出る発明品の説明を言葉か絵で書いてみましょう」と言いながら先生は水の入ったペットボトルの口を吹いて音を鳴らしたり、発砲スチロールに輪ゴムをたくさんかけて音を出しました。

2時間目は、みんなで発明品を作ります。教壇の前に並べたいろいろな材料をいっせいに取りにいきます。牛乳パック、空き缶、ペットボトル、発砲スチロール、卵のパック、お菓子の空き箱、ガチャガチャのカプセル、輪ゴム……。

教室のスピーカーからリズムカルな音楽が流れてきました。さっさと材料を決める学生、持ちきれないほどの材料を集める学生。ガサガサ、シャワシャワ、コロコロ、材料がぶつかりころがる音でにぎやかです。これから発明品を作るのです。空き箱にマジックで模様を書いたり、セロテープでくっつけたり、大学生に手伝ってもらってカッターで切ったり、材料が足りなくなって、また取りに行ったり。手が止まっている学生はいません。みんな『音のでる発明品』を作るのに夢中です。真剣で楽しいエネルギーで満ちています。いろんな音が聞こえてきました。発明品を試しに鳴らしてみたり、たたいてみたり。みんなの顔が『クリエイター』や『芸術家』のようになってきました。



教室に流れる音楽のリズムが一段と高くなっ

て、ペットボトルや空き缶やガチャガチャをくっつけた板を背負った東洋大のお兄さんと、それを棒でたたくお兄さんが走り出しました。「みんなも音に合わせて自分の楽器を鳴らしてみよう」という先生の声で、みんなはリズムに乗って作った楽器をふったり、たたいたり、吹いたりしてセッションが始まり、楽しさがはじけました。アイデアや工夫で、どこの家にもあるゴミだと思っていた材料で、音の出るすごい発明品ができあがりました。

#### 石原先生が授業のねらいとしてあげられた言葉：

君たち自身のなかにある、想像力が思いっきり羽ばたいていくよ。君にしかない、君にしかできない世界が、君たちのちからで、楽しみながら、笑いながら、躍りながら、できあがっていくよ。感覚のちから、イマジネーションのちから、手のちから、目のちから、耳のちから、からだのちから、みんな集まって、勝手に作品ができあがっていくよ。



この授業の終わりに学生諸君と保護者のみなさんに感想文を書いてもらいました。それをまとめて清書したものがホームページに掲載されていますので、ご覧ください。参考までに二人の保護者から寄せられたコメントを紹介します。

- 🐣 第一回の講義も子どもの心をばっちり捉えたようですね。家に帰ってからはクリエイターになりきっていました。子どもたちの創造する気持ちを大切に持ち続けていてもらいたいものです。
- 🐣 当日の子どもの様子を父（学生の祖父）から聞きました。帰ろうと声をかけた際、ジロー先生と話がしたい！と言って「先生、楽しかったです！」と前まで出て行ったそうです。ジロー先生から「じゃあ、握手をしよう！」と言っていただき、大喜びで帰ってきました。

子どもの周りには、つねに大勢の大人がおりますが、見慣れた家族や近所の人、もしくは小学校の先生に限られています。今回、知的な意味で「見上げるような大人」に接する機会を与えていただけたことは、10歳の彼にとって、ほぼ初めての経験かと思われます。私も今までの人生で考え、得たものはすべて彼に伝えたいと日々奮闘（ふんとう）しておりますが、今回広がった彼の世界は、私がどれだけ努力しても追いつかないもので、このような機会を設けてくださった関係者各位に心から感謝申し上げます。

小学生にとっては「実務的」な勉強ではないのかもしれませんが、こんな環境（かんきょう）に身を置くことができた彼が羨ましいような、何だか一人で歩きだされてしまった後ろ姿を見送るような、そんな気持ちでこの授業を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いします。



授業終了後、新入生全員が集合して記念写真をとりました。（「小江戸新聞社」提供）

## れんらく

### 1. 7月24日（土）授業「オリンピック聖火ランナーのヒミツ？」

24日は午後1時受付開始、1時半ホームルーム開始、2時に1時間目の授業開始、4時に2時間目の授業終了予定。講師は、尚美学園大学総合政策学部江頭満正専任講師、教室は尚美学園大学北オーディトリウムです。アクセスの方法として自家用車の利用が可能ですが、バス（スクールバス&路線バス）も利用できます。時刻表を同封します。

### 2. 8月25日夏期講座

7月24日の授業日に申込み受付を締切りますが、人数に制限がありますので、なるべく早めに申込書を事務局あてに郵送するなりファックスで連絡してください。24日の授業に欠席する方は特にご注意ください。代金の支払い方法等については24日にお知らせします。

### 3. 入学式集合写真

ご希望の方は、kawagoe@cuk.or.jpまで、学籍番号と枚数のご連絡をお願いします。詳細についてはホームページをご参照ください。7月18日（日）までにご注文いただいた方は、写真を7月24日（土）に受付でお渡し致します。

### 4. 厳重注意

東京国際大学第1キャンパスの授業の際は、絶対に自家用車を使用しないようにし、電車を利用してください。先月26日の入学式／授業の際は自家用車が溢れて路上駐車をしたため、東京国際大学に近所から苦情が殺到し、同大学に大変ご迷惑をおかけしました。9月からの授業が東京国際大学第1キャンパスで行われますが、自家用車を使用しないようくれぐれもご注意願います。

## 子ども大学かわごえ

学長 遠藤 克弥

事務局

NPO法人子ども大学かわごえ

〒350-1109 川越市霞ヶ関北 3-12-6

霞ヶ関北自治会館内



H-P <http://www.cuk.or.jp>

TEL 080-2053-2991（事務局直通）

FAX 049-233-1640F

E\_MAIL [info@cuk.or.jp](mailto:info@cuk.or.jp)